

## 15

## 消防庁

全国に交流を  
広げられる場所

PROFILE Sakai Shinichiro

平成18年 4月 総務省採用  
自治財政局公営企業課  
平成19年10月 福岡県総務部地方課  
平成20年 4月 福岡県企画・地域振興部市町村支援課  
平成21年10月 地方公共団体金融機構資金部資金課  
平成23年 4月 自治体国際化協会総務部総務課  
平成24年 4月 自治体国際化協会総務部総務課主査  
平成25年 4月 自治体国際化協会  
ニューヨーク事務所所長補佐  
平成27年 4月 現職

消防庁国民保護・防災部防災課  
応急対策室応急対策第一係長

酒井 晋一郎

平成18年入省



とある  
一週間

● 月曜日

発達した低気圧の影響で、都心部でも朝から大雪。被害情報の収集に当たります。

● 火曜日

災害対応を行う場所である危機管理センターの改修のため、庁内関係者と打ち合わせ。より利用しやすいレイアウトを検討します。

● 水曜日

毎月1回程度の宿直勤務。特段の災害もなく翌朝を迎えられるとほっとします。

● 木曜日

夜は消防庁内の同僚たちと皇居ラン。仕事と運動の後のビールが染み渡ります。

● 金曜日

週末に大雪との情報を受け、関係者を集めてミーティング。初動対応の確認をして災害の発生に備えます。

🔊) 自然災害と対峙する職場

我が国では4つのプレート活動の影響を受けて毎年多くの地震が発生しており、活火山も集中しています。さらに、中緯度帯に位置しているために台風や温帯低気圧の被害を受けやすく、自然災害とは常に隣り合わせです。

私が所属する消防庁応急対策室では、地震・津波や火山噴火、風水害といった自然災害が発生した際に、災害対策本部を立ち上げて被災地の状況を迅速に把握し、その情報を各省庁間で共有する、災害への応急対応を行っています。平成27年9月関東・東北豪雨といった大きな災害の際には、現地の被災状況や、これから何が必要になるのか、といったことに考えを巡らせながらの緊張した対応が必要になります。

また、実際の災害への対応を通じて得た反省や教訓を踏まえ、応急体制を常に見直し、検証を行っていくことも重要なミッションです。起こりうる災害を想定し、体制を構築することは、災害対応を行ううえで大切なことです。

🔊) たくさんの経験と出会いを糧に

私は入省して本省勤務を経験して以降、様々な職場で勤務してきました。福岡県庁では市町村行政に携わり、地方公共団体金融機構では海外の投資家からの資金調達、さらにニューヨークでは日本の自治体の海外活動支援を行ってきました。異動のたびに全く異なる分野の業務に変わったため、大変さを感じることもありましたが、それ以上に新しいことを経験でき、大きな刺激になりました。

また、全国の自治体から出向してくる職員の方たちとの出会いも魅力的なものです。私はいくつもの組織に所属してきたため、それぞれの職場で出向者の方たちと親交を深めることができました。同じ職場にいる間だけのわずかな時間ですが、彼らとともに仕事ができたことは、私にとって今でも貴重な財産となっています。

様々な経験ができ、全国の自治体職員の方と交流できるのは総務省の大きな魅力だと思います。ぜひ一度、総務省の門を叩いてみませんか？



Private Time

趣味でキックボクシングを続けています。ニューヨーク赴任中に通っていたジムでは、ジム内のスパーリング大会にも出場しました。トレーニング中は無心になれるので、いい気分転換になります。また、ジョギングをしたり、旅行に行ったりと、外に出て過ごすことが多いです。